



水の館プラネタリウム

プラネタリウム、下記イベントのお問い合わせ：
手賀沼親水広場 水の館 TEL.04-7184-0555 FAX.04-7185-5869

★定時上映 7月16日（土）～10月10日（月・祝）

★星空コンサート
「昭和・平成・令和 アニメソング」
日時：8月6日（土） ①13:00～ ②15:00～
場所：水の館プラネタリウム
星空解説：駒井 仁南子
定員：各回当日先着 50 人
（上映 1 時間前から水の館 3 階 事務室にてチケット販売）
費用：300 円 ※当日、定時上映は行いません

★星空たんけん観望会 星空の見方を学ぶ講座と星空観望会
「夏の大三角・夏の星空を観察しよう！」
日時：8月13日（土）19:00～20:30（18:45 受付開始）
集合場所：水の館 3 階事務室前
費用：100 円（中学生以下は無料）
定員：先着 50 人 ※小学生以下は保護者同伴
申込・問合せ：水の館 TEL 04-7184-0555
電話で要申込
8月2日（火）～8月12日（金）17:00 まで
※雨天・曇天の場合、星空観望会は中止。プラネタリウムで番組を鑑賞します。

★星空解説「今夜、なにがみえるかな」2022 夏
夏の大三角を中心に、夏に見える星座たちを紹介します。
自由研究にも役立つ内容です。

★テーマ番組「太陽」
夏の熱い日差し。その源となる太陽。私たちに最も身近な恒星です。改めて太陽を知り、太陽と人々の関わりを紹介します。

☆土日祝日の上映時刻	テーマ番組 10:00～／13:00～／15:00～ 星 空 解 説 11:00～／14:00～／16:00～ テーマ番組、星空解説ともに約 20 分間
------------	--

☆平日のみ団体上映を受付。（2 日前までに要予約。ただし、休館日を除く）
・定員：各回先着 50 名（上映 1 時間前から発券）
・費用：高校生以上 100 円（中学生以下無料）
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力を頂いております。
☆夏休み期間は平日も 1 日 2 回一般上映します。
（団体予約は水曜を除く平日午前のみ）
・期間：7 月 21 日（木）～8 月 30 日（火）※水曜日は定休
14:00 ～星空解説 / 15:00 ～テーマ番組

☆夏休みの環境学習！

◆船から見る手賀沼のふしぎ（船上学習）
日時：7月27日（水）9:30～10:30（受付 9:00～）
場所：手賀沼公園「ボートセンター小池」前集合
対象：小学生（3 年生以下保護者同伴）先着申込 30 人（1 組 3 人まで）
費用：無料
持ち物：マスク、筆記用具、飲み物
申込期間：7 月 19 日（火）～7 月 25 日（月）まで
※雨天・荒天中止



◆プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう！
日時：7月28日（木）・8月3日（水）12:30～16:30
場所：水の館 3 階研修室
対象：小学生（3 年生以下保護者同伴）各日先着申込 20 人
費用：50 円（保険料）
持ち物：マスク、筆記用具、持ち帰り用の袋（ビニール袋）、帽子、タオル、飲み物
申込期間：7 月 19 日（火）～7 月 26 日（火）まで



◆カヌー体験 in 手賀沼！
日時：8月21日（日）①10:00 ②11:00 ③12:00（各回 45 分）
場所：手賀沼親水広場（集合場所：水の館 3 階）
対象：小学 4 年生以上、各回 1 人乗り 3 名・2 人乗り 3 組（家族での同乗のみ）先着申込
費用：100 円（保険料）
持ち物：マスク、水にぬれてもよい服、タオル、着替え、飲み物、帽子
申込期間：7 月 19 日（火）～8 月 18 日（木）まで
※雨天・荒天中止



◆紙粘土で花瓶等を作ろう！
～廃棄物利用で鳥や花を飾って～
日時：8月4日（木）・8月11日（木・祝）9:30～11:30（全 2 回）
場所：アピスタホール
対象：2 日間参加できる小学生（3 年生以下保護者同伴）先着申込 20 人（1 組 3 人まで）
費用：無料
持ち物：マスク、エプロン、手拭き用のタオル、粘土用へら（お持ちの方）、2 回目に持ち帰り用の箱（段ボールなど）
申込期間：7 月 19 日（火）～8 月 2 日（火）まで

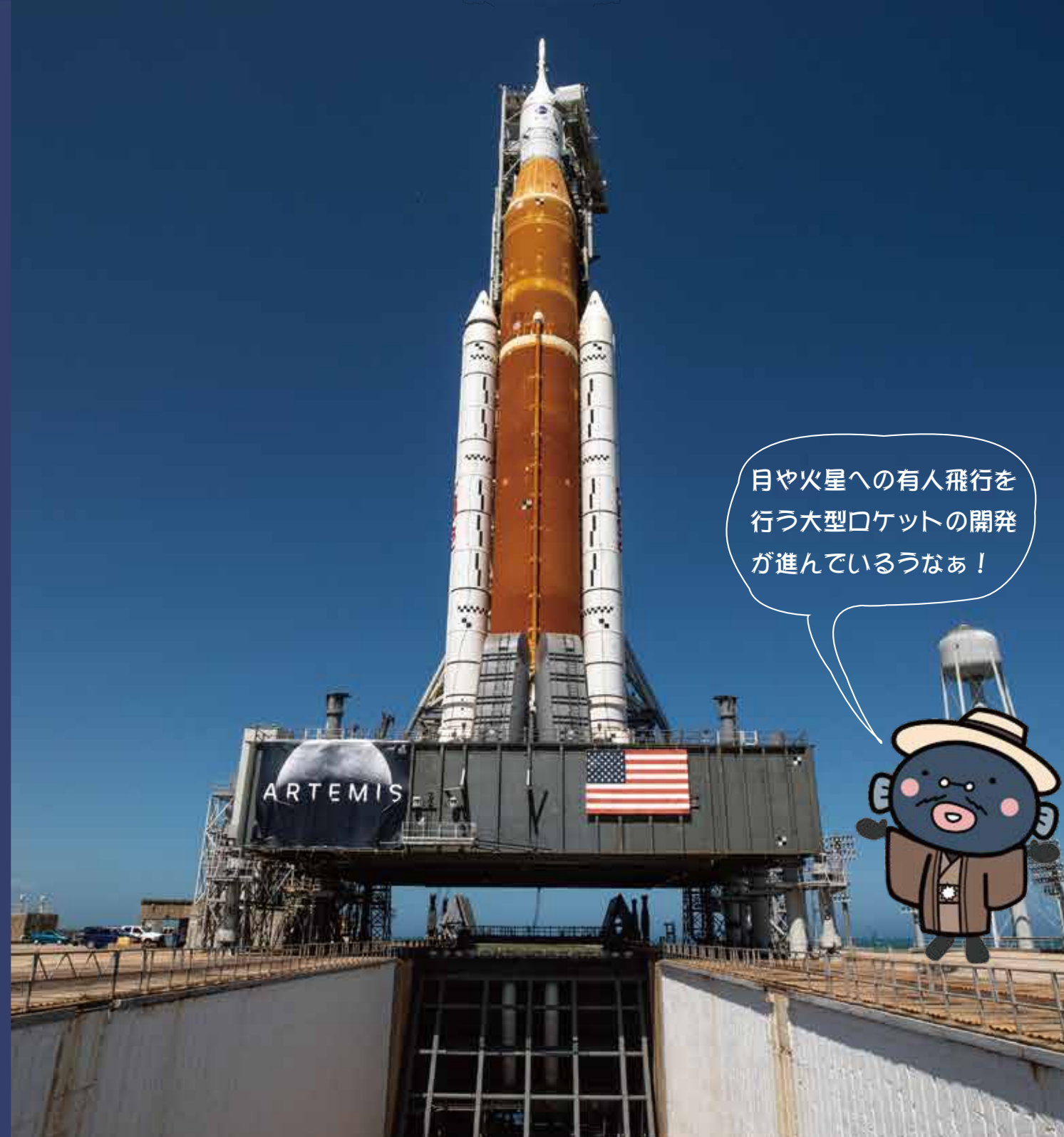


☆申込方法：申込期間中の 8:30～17:00 の間に電話で先着申込
☆問い合わせ：手賀沼課 TEL 04-7185-1484

水の館プラネタリウムの番組と
我孫子で見られる星座の情報誌



2022 年度 夏 Summer



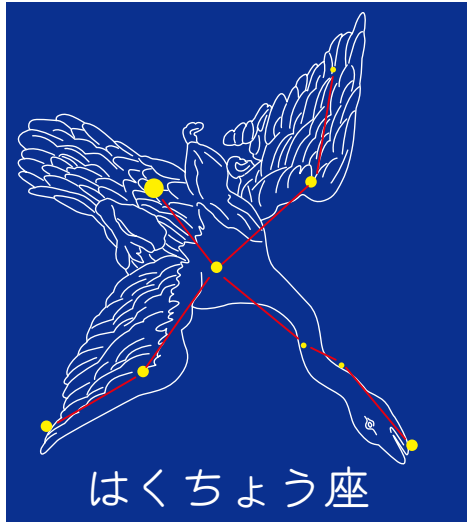
月や火星への有人飛行を行う大型ロケットの開発が進んでいるうなあ！



©NASA

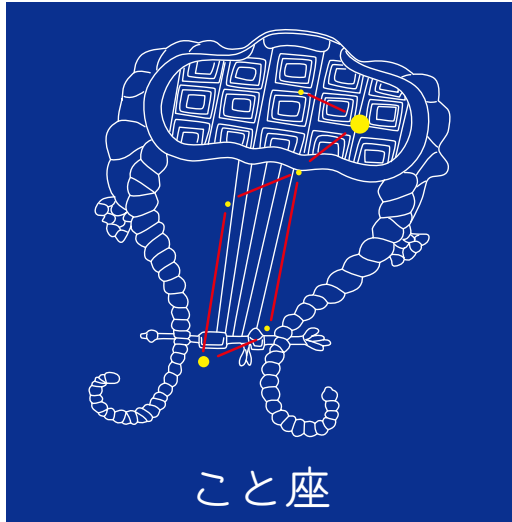
星座の物語 ～夏の大三角～

夏休みの自由研究や宿題でよく取り上げられるのが、夏の大三角です。3つの一等星が形作る大きな三角形。夜空の暗いところでは、その真ん中を天の川が横切る姿も見ることができます。



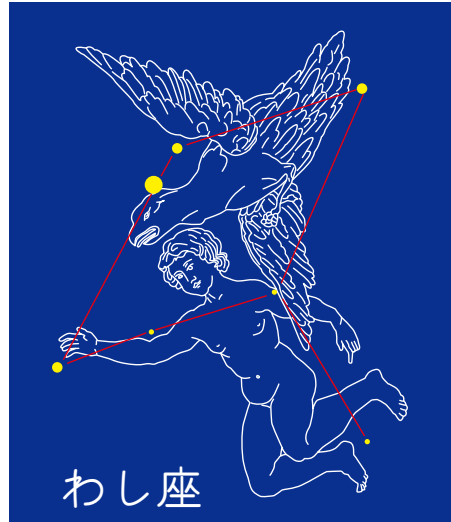
はくちょう座

一等星はデネブ。大きな十字を描く星座です。大きく翼を広げたように見える姿は雄大で、夜空の中でも見つけやすい星座の一つです。



こと座

こと座にある一等星はベガ。夏の大三角の中では一番明るく輝き、高いところまで昇ります。夏の夜空の高いところで輝く明るい星があったら、まずベガを思い浮かべるのがよいでしょう。そのベガの近くにある小さくまとまった四角く並ぶ星々がこと座です。



わし座

わし座の一等星はアルタイル。七夕の星、彦星としても有名です。彦星に対して、織り姫星はこと座のベガです。この二つの星は天の川を挟んで向き合うように輝きます。はくちょう座のように大きくは見えませんが、わし座もアルタイルを中心に翼を広げた十字に近い形を作っています。

2022 年夏から秋の天文イベント

7月21日の深夜(7月22日) 火星食

月が火星を隠す現象が起こります。北海道などでは火星が月に隠されるところから、出てくるまで観察できます。我孫子市周辺では、火星が月に隠された状態で月が昇ってきます。そして昇った月の影から、7月22日0時15分頃に火星が出てきます。この時の月は低い高度にあるので、東の空が開けたところで、双眼鏡などを使って観察するとよいでしょう。

8月4日 伝統的七夕

旧暦の7月7日を伝統的七夕として国立天文台が毎年発表しています。今年は8月4日になります。今の暦での7月7日は梅雨の季節であり、星空もなかなか姿を現しません。しかし旧暦の7月7日は例年、梅雨を終えており、星空も眺めやすくなっています。伝統的七夕に合わせて、織姫星、彦星と探してみるのもよいでしょう。

8月13日 ペルセウス座流星群

3大流星群のひとつ、ペルセウス座流星群が見られる日ですが、今年は大きな月が出ていたため、流星群の観察には適していません。

9月10日 中秋の名月

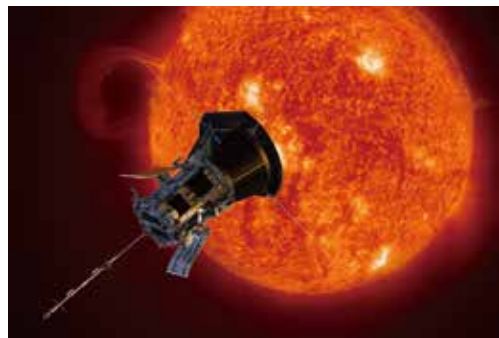
今年の中秋の名月は、9月10日です。「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日の夜に見える月のことを指します。中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。日本では中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼ばれることもあります。

9月～ 火星の接近

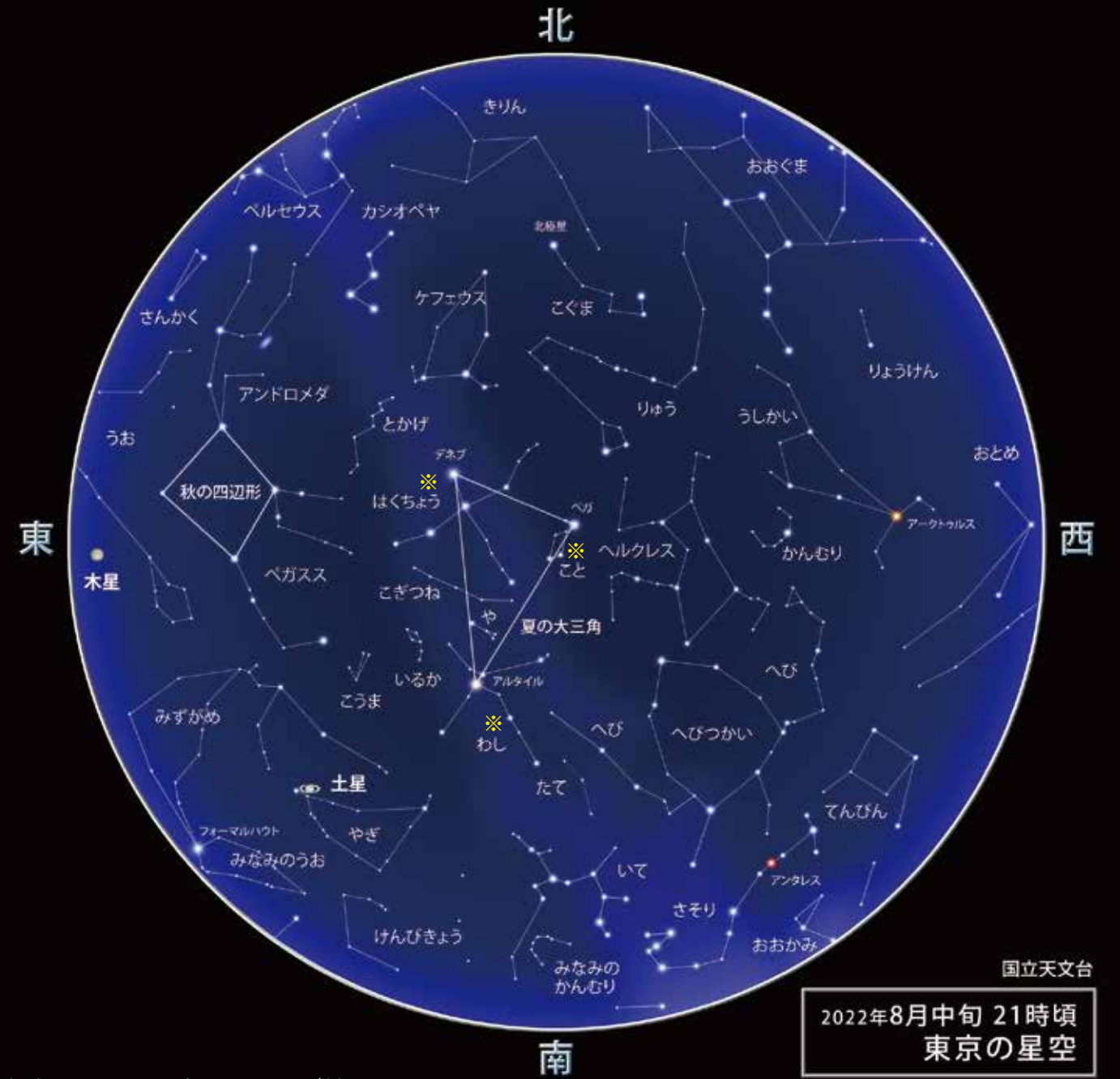
火星と地球は2年2ヶ月ごとに接近します。2022年12月1日が次の最接近になり、その頃に向けて火星は徐々に明るさを増していきます。接近することで、火星が大きく見え、明るく輝きます。9月の火星は真夜中の東の空に赤く輝いています。

星空ギャラリー

太陽に関連した展示を行います。日時計の仕組みや日食の写真、そして太陽に向かっている探査機の情報も紹介します。



©NASA / Johnsons Hopkins APL / Steve Gribben



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

天文ニュース

“スペース・ローンチ・システム”

2022年6月、近い将来月に向かうロケットがテストのために発射台に据え付けられました。アマテラス計画などNASAの大型有人探査を支えるロケットです。このロケットを使い、月や火星へと向かう計画をスペース・ローンチ・システム(SLS)と呼びます。今後10年以上の長きに渡って有人探査をリードしていく計画です。



©NASA

星空ミニクイズ

太陽の直径は地球の何倍くらいあるでしょう？

- ①10倍くらい ②100倍くらい ③1,000倍くらい

答えは水の館3階、プラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2022年度夏のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの横にあるよ